



●2023 年度 色彩教材研究発表会

3月16日（土）に、色彩教材研究会主催による研究発表会を開催します。色彩教材とその周辺に関する研究発表を広く求めます。

具体的には色彩教材、色彩教育、デザイン、芸術、文学など自由な視点から色彩学に貢献できる新しい学術的もしくは実学的視点について議論と共有の場を設けます。

◎参加費は「無料」です。

◎日時：3/16（土）13:00～16:45（予定）

◎会場：DIC 本社（東京都中央区日本橋3-7-20 DIC ビル）。

聴講は Zoom によるハイブリッド開催。

①「研究発表会」（パワーポイント使用：発表時間 15 分、質疑 5 分）

②「DIC デジタルカラーガイドの実演」（秦野哲洋氏：DIC グラフィックス [株]）

③「色彩教材ギャラリートーク」（作品展示・紹介：発表時間 2 分。質疑 1 分。ご自身が制作されたツール、ご自身が制作された色見本、ご自身が執筆された書籍などの紹介。）

◎申込と締切：学会のホームページから。

・研究発表：3月7日（木）まで延長。

・教材ギャラリートーク：3月7日（木）

・聴講参加のみ：3月10日（日）まで。

（色彩教材研究会主査：吉澤陽介）

●色、回想：我孫子ビレジの外装色彩

1975 年頃から、東急不動産からの依頼でカラープランニングセンターで取組んだ建築外装色彩設計の回想です。

我孫子ビレジは、東急設計コンサルタント、東急建設、東急不動産が、先進技術を駆使して挑んだ、駅から徒歩 15 分の千葉県我孫子市つくし野三丁目に開発し建設した約一千戸の中・高層棟からなるニュータウン建設です。

2023 年 12 月に、このニュータウンが、48 年の年月を経て、どのような姿で残っているのかを見るために足を運びました。

当時の団地はモルタルの灰色一色で仕上げるのが普通でしたが、当時指導を受けていてフランスのジャン＝フィリップ・ランクロ教授の手法を活かして、5 階建中層棟には敷地の土色から基本色の 3 色を決めマトリックスにして子供達にも自分の家がどこにあるのか分かりやすい配色デザインを行い、3 棟の 13 階高層棟は、重圧感を与えないよう、やや大人しいカラーデザインを指定しました。

現在の我孫子ビレジは最初のカラーデザインのまま、外装や遊具が丁寧に塗り変えられ、当時は貧弱だった植栽は、半世紀を経て見事に成長して、素晴らしい住環境を形成していました。

（永田泰弘）

●配色イメージの教材作りについて

色彩を学ぶ学生にどんな事を教えたら、役に立つかを考えています。

色の物差しは、基本なのです。三級の内容はベースです。そのほかに何かあるかと考えました。色と感情というところがあらゆる分野に関係してくると考え、その色の心理の引き出しをしっかりと勉強できたら、その後、配色のための色彩体系を学んで、それをベースにして配色イメージの応用ができるのではないかと思います。

例えば、サイケデリックな配色とは？と言われても意味から調べたとしても、色に対して色の意味や心理の引き出しが何もないとピンとこないと思います。

一般的な答えは鮮やかなオレンジ、パープル、グリーン、レッドなどの他に蛍光色の組み合わせや、とにかく派手な組み合わせで、印象に残るような色の組み合わせなどの配色が使われます。

具体的に、派手な色はどんな色？目立つ配色はどんな配色？そこで、言葉のイメージ配色と色彩心理がひと目でわかるような教材を提案したら、学生たちがあらゆるデザイン分野で、イメージから配色の引き出しが増えるのではないかと思います。

（田森恭子）